

平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 フルキャスト
 代 表 者 名 代表取締役社長 漆 崎 博 之
 (コード番号 4848 東証第一部)
 問い合わせ先 取締役 執行役員 管理本部長 上 口 康
 執行役員 グループ経営企画部長 塚 原 進 午
 電 話 番 号 03-3780-9507

平成 20 年 9 月 期 中間期業績予想ならびに
 中間配当予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、平成19年11月5日の決算発表時に公表した平成20年9月期の中間業績予想ならびに中間配当予想を、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 9 月 期 中間期業績予想 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【連結】

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 中 間 純 利 益 |
|--------------------------------|---------|---------|---------|-----------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 51,028 | 998 | 795 | 518 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 49,818 | 741 | 691 | △103 |
| 増 減 額 (B-A) | △1,210 | △257 | △104 | △621 |
| 増 減 率 (%) | △2.4% | △25.8% | △13.1% | — |
| (ご参考) 平成 19 年 9 月 期 通 期 実 績 | 108,301 | 2,081 | 1,811 | △674 |

【個別】

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 中 間 純 利 益 |
|--------------------------------|--------|---------|---------|-----------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 19,604 | 3 | 1,777 | 2,096 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 14,984 | △177 | 1,528 | 1,359 |
| 増 減 額 (B-A) | △4,620 | △180 | △249 | △737 |
| 増 減 率 (%) | △23.6% | — | △14.0% | △35.2% |
| (ご参考) 平成 19 年 9 月 期 通 期 実 績 | 44,429 | 208 | 242 | △994 |

2. 通期業績修正の理由

【連結】

営業支援が好調なオフィス事業と通信機器製造業などを中心に幅広く受注を獲得したファクトリー事業が期初計画を上回る見込みになったものの、スポット事業の期初計画未達部分を補い切れなかったことなどにより、連結売上高は、期初計画を若干下回る見込みとなりました。

利益面では、グループ全社にかかる間接費用の削減をはじめ、受注が順調なオフィス事業とファクトリー事業が期初計画を上回る見込みであります。また、スポット事業とテクノロジー事業における技術者派遣部門の期初計画未達部分を吸収しきれなかったことにより、連結営業利益は期初計画を下回る見込みとなりました。また、特別損益には、保有有価証券の評価損ならびに警備業を営む連結子会社に対する「のれん」の減損損失など合計 394 百万円を特別損失に計上いたします。この結果、上記 1. 【連結】に記載のとおり、修正いたします。

【個別】

売上高は、一部の企業において当社の遵法状況を確認する期間を設けられたことや、当社における受注基準の引き上げなど選別受注を推し進めたことなどから、期初計画を下回る見込みとなりました。

利益面におきましても、前期末に実施した大規模な拠点統合による業務効率化を進めた結果、販売費及び一般管理費は大幅に抑制しましたが、売上高の減少による影響を吸収できなかったことから、期初計画を下回る見込みとなりました。また、特別損益には、保有有価証券の評価損など合計 236 百万円を特別損失に計上いたします。

この結果、上記 1. 【個別】に記載のとおり、修正いたします。

なお、通期業績予想におきましては、連結業績ならびに個別業績ともに現在精査中であり、平成 20 年 9 月期中間決算短信の公表時（平成 20 年 5 月 2 日公表予定）にお知らせする予定であります。

3. 平成20年9月期配当予想の修正

| 基準日 | 1株当たり配当金（円） | | |
|---------------------|----------------|---------------|--------|
| | 中間期 （3月31日） | 期末 （9月30日） | 年間 |
| 前回予想（平成19年11月5日発表） | 1,000円 | 2,000円 | 3,000円 |
| 今回修正予想 | 0円 | 2,000円 | 2,000円 |
| （ご参考） 平成19年9月期実績 | 2,000円 | 1,000円 | 3,000円 |

4. 配当予想修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要な課題のひとつとして位置付けており、配当政策は、中間配当と期末配当の年2回、剰余金の配当を行うことを基本にしつつ、業績の動向と投資計画に基づく翌年度の1株当たり利益および利益成長率を考慮に入れ、連結ベースの配当性向30%を目途にして配当金額を決定することを基本方針としておりますが、中間期業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、当中間期の配当を見送らせていただきたく存じます。期末配当につきましては、1株当たり2,000円を据え置き、年間配当金2,000円を予定しております。

株主の皆様には深くお詫び申しあげますとともに、配当金額の早期回復を目指して努力する所存でございます。引き続きご支援を賜りますようお願い申しあげます。